

墨田区教職員組合ニュース 2024. 4. 8

(東京都公立学校教職員組合墨田支部)

メールアドレス：ar5t-kym@asahi-net.or.jp ホームページ：<http://www.asahi-net.or.jp/~ar5t-kym>

東京教組ホームページ：<https://tokyokyouso.org>

働く仲間のみなさんへ

組合員は随時募集中！「東京都公立学校教職員組合」のホームページ→「組合加入」から加入申し込みできます。

墨田区の小中学校で働くすべての教職員のみなさん。春休みは少しは気分転換できたでしょうか。また新しい1年が始まりました。無理せず頑張りましょう。異動された方や新規採用の方などは、新たな職場で緊張や不安で気苦勞も多いと思います。年度当初の忙しい時期ですが、わからないことは聞いて、励まし合いながら一緒に協力して前へすすんでいきましょう。墨田区教職員組合は、みなさんを心から歓迎します。

数十年前の学校現場では、多くの教職員が組合に加入し、自分たちの労働条件について、声を上げてきました。今ある様々な権利も組合で要求して勝ち取ってきたものです。組合がなくなれば、私たち教職員の労働環境は確実に悪化するでしょう。現場の声を教育委員会や社会に伝える組合の役割は大切だと思います。墨田区教職員組合は、墨田区の小中学校で働く教職員が正規・非正規を問わず加入できる組合です。みなさんの組合加入を歓迎します。組合活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

墨田区教職員組合は、東京教組の支部です。東京教組は、日教組傘下の組合です。どんな活動をしているかは、ホームページなどでお知らせしています。

～東京都公立学校教職員組合（東京教組）の取り組み～

●私たちの労働条件改善のための取り組み

休憩時間に休憩できない問題や長時間労働の問題、病休や産育休代替教員が見つからないなど深刻な人手不足の問題など、教育現場には問題が山積しています。これらの問題に対し、都教委と交渉しています。アンケート調査などを通して、現場の声を集約し、都教委に伝え改善を要求しています。

昨年度、都の予算として、産休代替教員の早期配置に予算が計上されるなど、組合が要求してきたことが実現しました。教育に予算をつけ人を増やし、一人あたりの仕事量を削減することが、私たちが安心して働き続けられる現場にするための唯一の解決策です。「定額働かせ放題」の「給特法」の廃止・抜本的見直しも急務です。労働環境の改善は、子どもたちの教育環境の充実につながります。本当に「子どものため」を考えるのであれば、病休者が続出し慢性的に人手不足な状況と長時間労働が常態化する現状を変える必要があります。

●春闘や秋闘

他の公務員労働組合と連帯し、ベースアップや人事考課制度と賃金をリンクさせることを許さず、取り組んでいます。

●希望に沿った異動を実現するための取り組み

●パワハラ・セクハラ・マタハラなどあらゆるハラスメントを許さない取り組み

残念ながら、パワハラを始めとするハラスメントが後をたちません。毎年組合で実施しているアンケートでも、パワハラなどの報告がたくさん届きます。ハラスメントを受けたら、一人で悩まず組合に相談してください。

●教育研究

日教組の全国教育研究集会や東京教組の教育研究集会、東京教組・青年部主催の授業講座では、子どもも教員も楽しくできる授業の実践や、平和教育、人権・同和教育、ジェンダー平等教育の授業の実践、実践に必要なことを学ぶことができます。

●組合に入るといいこと

職員団体として、教育委員会と交渉できます。東京教組は都教委と交渉しています。

職場で疑問に思ったことをなかまと共有できます。他の学校・地域の組合員と情報交換したり問題を共有したりすることができます。

東京教組が加盟する日教組は全国組織なので、全国のなかまとも繋がることができます。

権利について知ることができます。東京教組の組合員には、「ハンドブック」を配布しています。権利に関することが細かく書かれています。また、労働問題について、異動について、パワハラについての相談や自分の権利についてわからないことを組合に聞いて、解決策を見つけることができます。

～墨田区教職員組合の取り組み～

墨田区教職員組合では、職場の仲間にアンケートをとり、労働環境を把握し、労働環境の改善に向け、他の労働組合と連携して、区長や担当部署との交渉を行っています。育児や介護をしながらでも、誰もが安心して働き続けられる職場を目指して、東京教組と連携し活動しています。組合員がいない職場の状況が把握できていない現状があるため、みなさんの職場の状況を組合に伝えてください。

また、地域の活動として、墨田区の地場産業である皮革産業を知るためのイベント「きねがわスタンプラリー」への参加、地域にある朝鮮第五初中級学校を知り、交流をすすめ、共に歩むために昨年設立された「第五のなかま会」のイベントへの参加など、地域に根づいた取り組みをしています。東京教組の東部の各支部（江戸川・葛飾・江東支部）や東京教組の青年部の仲間と共に、いまがざで起きていることについて学習会を行うなど、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンの下、戦争と平和について考えています。夏休みには東京教組や他の支部のなかまと一緒に、沖縄の歴史や基地問題のことを学ぶフィールドワークや、福島や石巻など東日本大震災の被災地をめぐるフィールドワークなどに参加してきました。

★お願い★

組合から様々な署名やアンケートへのご協力を依頼することがあります。現場の声を伝えることが組合の大きな役割の一つです。署名やアンケートが回ってきたら、ご協力をお願いします。

★お礼★

12月初旬から3月4日まで実施した「学校の大ピンチ」を救う方策の実現を求める署名は、698,091筆を3月13日中教審・文科省に日教組が提出しました。その後追加が届き、最終701,254筆でした。墨田区内でも多くの方にご協力いただき、ありがとうございました。

中教審の議論は3月で10回を終え、今後、最終的なまとめを行う見通しです。学校現場が実感できる学校の働き方改革の実現、長時間労働是正にむけ、墨田区教組は東京教組、日教組と共に取り組んでいきたいと思えます。

★お知らせ★

◆4月14日（日）朝鮮第五初中級学校校舎耐震改修事業完工記念セレモニー

場所 朝鮮第五初中級学校 都営浅草線直通京成「八広」駅下車徒歩8分 ※昼食無料

時間 11時～学校公開 11時30分～13時30分頃まで 記念感謝祭（学生公演、歌舞団公演など）

◆4月14日（日）狭山現地調査 12時30分 西武新宿線「狭山市駅」集合

13時～ 石川一雄さん・早智子さんと交流、講師によるお話「部落差別と狭山事件」

15時～16時頃 現地調査（強制された嘘の自白がいかにありえないかを現地を歩いて確認します）

◆4月26日（金）「民族楽器重奏団 民楽チャリティー特別コンサート」開場 18時30分 開演 19時

場所 かつしかシンフォニーヒルズアイリスホール 京成「青砥」駅下車徒歩5分

全席自由 前売り／当日 3000円 主催 東京朝鮮第5初中級学校チャリティーコンサート実行委員会

※「民楽」は、在日コリアンたちで構成される民族音楽集団で、日本の各地、韓国、アメリカ、ロシア等、海外で多種多様な演奏会に参加しています。朝鮮の民族楽器の説明もあるそうです。

